

(様式 3)

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	坂上貴之	所属	慶應義塾大学文学部
研究会等名称	第 24 回行動数理研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員        22 名 (うち認定心理士    2 名) 非会員     11 名 (うち認定心理士    0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>集会の目的：行動の数理的・定量的分析に関心を持つ研究者間の情報交換と研究の促進を目的として、年 1 回研究集会を開催し、研究集会の講演記録集を刊行している。集会では、研究会の前半に研究方法のテクニックや他の研究分野に関する知識を解説する教育セッションを、後半に一般の研究発表という構成で研究会を実施している。今年は、午前に 1 件の教育セッション、午後には 3 件の研究発表が行われた。</p> <p>実施内容： 日時 2016 年 9 月 12 日 (月) 11 時 00 分より 16 時 20 分まで 場所 大阪市立大学 梅田サテライト 101 教室 (大阪駅前第 2 ビル 6 階) プログラム： 午前の部：教育セッション 11：10-12：20 神前 裕 (慶應義塾大学) 『オペラント学習における連合過程とその神経基盤について』 午後の部：研究発表 13：30-14：20 古野公紀 (明星大学/帝京大学) 『ハトのつつきオペラントにおける空間的次元の実験的分析』 14：20-15：10 中村達大 (常磐大学) 『ペダル踏み反応と餌呈示の依存関係がニワトリのヒナのキーつつき反応の獲得とペダル踏み反応の復活に及ぼす効果』 15：20-16：10 井垣竹晴 (流通経済大学)・Paul Romanowich (University of Texas San Antonio)・坂上貴之 (慶應義塾大学) 『非合理的選択研究の展望 ー行動分析学と行動経済学をつなぐものー』</p> <p>成果・将来計画：今年度の教育セッションでは、オペラント学習に関する連合過程について専門家によるチュートリアルセッションを行なった。研究発表に関しては、定量的な実験的行動分析に関する研究が 3 件発表された。全体を通して、質疑応答も活発になされ、例年と同じく、密度の濃い研究集会となった。参加人数も 33 名と例年通り大人数が参加し、参加者の研究分野も基礎領域だけでなく応用領域の研究者も多数集い、本研究集会が多様な展開を見せていることを示している。今後とも、行動の定量的研究に関心を持つ研究者のニーズを捉えた、自由な議論が展開できる研究集会を目指していきたい。</p>		

## 研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
第24回行動数理研究会				
研究集会開催日： 2016年 9月 12日(月)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	森脇康子	滋慶医療科学大学院大学		
2	松井 大	慶應義塾大学		
3	黒田敏数	愛知文教大学	○	
4	山岸直基	流通経済大学	○	
5	平岡恭一	弘前大学	○	
6	八賀洋介	慶應義塾大学	○	
7	坂上貴之	慶應義塾大学	○	
8	丹野貴行	明星大学	○	
9	福田実奈	同志社大学	○	
10	伊藤正人	大阪市立大学	○	
11	藤巻 峻	慶應義塾大学	○	
12	中村 敏	大阪市立大学	○	
13	折原友尊	明星大学		
14	飛田伊都子	滋慶医療科学大学院大学		
15	石井 拓	和歌山県立医科大学	○	
16	古野公紀	明星大学	○	
17	井垣竹晴	流通経済大学	○	
18	空間美智子	京都ノートルダム女子大学	○	
19	石川 綾	大阪市立大学		
20	住友順子	滋慶医療科学大学院大学		
21	畑 佑美	大阪市立大学		
22	中村 達大	常磐大学	○	
23	佐伯大輔	大阪市立大学	○	
24	山田航太	慶應義塾大学		

	氏名	所属	会員	認定 心理士
25	池田正樹	大阪市立大学		
26	佐久間 崇	常磐大学		
27	中島正彦	関西学院大学	○	
28	青山謙二郎	同志社大学	○	○
29	山口哲生	東邦大学	○	○
30	倉田悠希	同志社大学	○	
31	小原漱斗	大阪市立大学	○	
32	水谷優斗	愛知学院大学		
33	恒松 伸	立命館大学	○	

(様式5)

2017年 3月 22日

日本心理学会研究会                      2016 年度会計報告書

研究会名称    公益社団法人日本心理学会 行動数理研究会

研究会番号    研16019

助成金額                      ¥30,000

年月日	項目	金額
2017年3月16日	印刷費（講演記録集）	¥30,000

---

支出合計                      ¥30,000